

たあとるほいくえん 鳳園
【平成30年度 自己評価への取り組みと状況報告】

今年度1年を振り返り、保育士自身の評価を1→5(悪い→良い)の5段階評価で行いましたので報告します。この評価を受け、次年度の「保育の質の向上」に努めてまいります。

保育の計画性

たあとるほいくえんの保育理念・方針を理解し、達成できるように計画を立てている。	3.4
子ども一人ひとりの発達過程や興味を把握し、計画を立てている。(月案・個人計画)	3.2
保育所保育指針に基づく援助・支援を適切に行っている。	3.4
評価結果をもとに保育の改善に努めている。	3.2
楽しい雰囲気の中で、安定してあそべる環境構成を考えている。	3.6
配慮の必要な子どもには、その子に応じた計画を立てている。	3.5
良いところ	1人ひとりにあった言葉掛けや援助が出来ていた
	昨年の行事反省を読み返したうえで、今年度の子供に合わせた行事を考えた
	ミーティングを通して子どもの様子や行事の確認ができています
	一つのことのできるようになった時にはたくさん褒めてあげるよう努めた
改善点	週案をボードに書いていたのでみんなで把握できた
	子どもの能力に対して、年齢が高めである活動内容になってしまうことがあった
	ギリギリではなく余裕をもって計画を立てようとする
	保育理念・方針を全職員で考える時間を持ち、統一感の確認をしたい
	お誕生日会の人数配分考える
	アレルギーの子どもの除去食をできるだけ代替え食で対応できるよう勉強したい

子どもとの触れ合い・対応

一人ひとりの人権を大切に関わっている。	4.1
一人ひとりの思いを受け止め、思いをできるだけ実現してあげようとしている。	4.4
一人ひとりの目標と課題を明確にし、見通しを持って関わっている。	3.3
一人ひとりの子どもの話を同じ目線で聞き、丁寧に関わっている。	4.4
子どもの手本となる言葉使いや挨拶が出来ている。	3.5
子どもの名前は呼びすてにしている。	4.4
すべての子どもと公平に関わっている。	3.9
オムツ交換・お着替え時は、優しく声掛けし、スキンシップをとっている。	4
必要以上に「禁止・命令・行動を急かす・自信を失わせる言葉や態度をしていないか。	3.4
子どもに対する適切な言葉遣いができている。	3.3
良いところ	常に子どもと同じ目線で向き合い接することができた
	子どもの言葉に耳を傾け、言葉を返してあげたり、気持ちを認めることができた
	1人ひとりの子どもの自尊心を大切に、小さなことでも褒めてやる気を引き出す
	可能な時は、給食やおやつを食べている様子を見に行き、子どもの反応を見たり、先生の意見を聞いてつぎはもっと喜んでもらえるようにしている
改善点(策)	集団生活ができるよう一人ひとりに声をかけた
	職員がたって保育をすると圧迫感があるので座るように心掛けたい
	口調が厳しくなることがあるので気を付けたい
	1人1人の性格知り、子どもとの関わりをたくさん持って、子どもが安心して過ごせるように頑張りたい
	子どもと丁寧に関わっているつもりでも、実際にどういう対応をしたらいいかわからないことがあるので、他の先生方の対応を見て参考にしていきたい。

保護者への対応

園の保育内容や子どもの姿がわかるような発信をしている。	3.4
子育てパートナーとして、保護者の子育ての大変さや悩みを理解している。	3.4
送迎時に子どもの姿(ケガ含む)を必ず伝えている。	4
丁寧な言葉遣いと気持ちの良い対応を心がけている。	3.9
親しくなったからといって、ため口や友達同士のよう話し方、上から目線で会話をしていないか。	4.4
すべての保護者と公平に関わっている。	4.3
保護者の子育てを支え、子育ての喜びを共感している。	4
良いところ	玄関での受け入れなので一人ひとりの保護者と会話できた
	連絡ノートや送迎時に関わりが持てている
	保護者の頑張りを認め、自信をもって子育てできるような言葉をかける
	自宅で怪我をしてきた場合に園でも注意して観察することを伝え、保護者に安心してもらえるように努めた
改善点(策)	子育てに関して悩んでいる保護者の方に対して、アドバイスができるよう知識を増やしていくようにする
	担任の先生だけではなく、園全職員で保護者の対応をしてコミュニケーションを計りたい
	子どもの持ち物を、別の子どものものと入れ間違えてしまい、保護者にも周りの職員にも迷惑をかけてしまった
	降園時、なかなか帰ろうとしない子どもへの声掛けが難しい

自然や社会との関わり(散歩・戸外あそび)

適度に園庭やお散歩に出掛けている。	3.7
生き物や植物を大切にしている。	3.9
近隣地域の人、来園者に明るく挨拶ができています。	4
良いところ	商店街が屋根があるため、雨でも外にいける
	雑草をとり、土を耕し、園庭であそべるようにした。
	保育者、子ども達ともに明るくあいさつができていた。
	園庭が広いので、伸び伸び遊べる
改善点(策)	季節の自然や遊びを楽しむことができるように適度に外にできるようにした
	園庭遊びの内容が同じにならないように工夫したい
	商店街があるので通行に気を付けたい
	商店街、通行人だけではなく、公園にもいけるようにしてあげたい
	慣れた道こそ油断しないように毎回意識して散歩する

保育士としての能力(良識・適正)及び態度(姿勢)

園内・園外研修に積極的に参加している。	3.1
自らの保育を振り返り、第三者の意見を聞きにしている。	3
自らの保育を振り返り、第三者の意見を取り入れている。	3.6
自身の保育を振り返り評価反省を行い、次の保育に生かしている。	3.7
まだ、自分にできることはないか、協力できることはないか自ら声をかけている。	3.8
自己の体調を管理し、他職員に迷惑をかけないよう努めた。	3.6

子どもの事、クラスの出来事、保護者からの苦情(相談)等、必要なことは、施設長(管理者)や主任に「報告・連絡・相談」している。	4
園の消耗品や教材は節約して使っている。	4.4
職員や園の批判を軽はずみにしたり、プライバシーについて他へ漏らしていないか。	4.3
他の保育士の意見を尊重できている。	4.2
提出物を期限内に提出できている。	4.3
良いところ	何でも気軽に相談でき、みんなで協力する姿勢があったので保育しやすかった
	製作物が多い時は先生同士で掛け合い、協力できている
	行事が終わった後、必ず振り返り、反省をしていたので良かったところ、悪かったところを全員で改善に努めている
	書類の書き方や提出期限に注意し、計画した内容を実践しようとした
	毎日振り返りノートをつけることができた
	みんなで話し合いを日々進めていくことができた
改善点(策)	他の保育士と相談しながら製作の準備などで取り組んだ 体調管理ができた
	積極的に自分のできることを見つける 整理整頓を心掛ける
	他職員からいただいた意見に反論してしまうことが多くあった
	分からないことをそのままにしてしまうことが多かったので、分からない事はすぐに聞いて改善に努めるようにする
	書類の種類や量が多く感じる
	他の保育士ともっと協力できることはないか探し保育の質を高めていくべきであった

安全面及び衛生面

給食及び間食を提供の際は、アレルギー食の配慮や工夫がされている。	4.4
施設設備や園庭、お散歩道中の危険箇所を把握し、安全点検を行っている。	3.5
常に危険を予知して保育に取り組んでいる。	3.8
危機管理意識を持ち、緊急時に対応できる体制ができている。	3.5
保育室の換気、温度・湿度に配慮して保育している。	2.8
子どもの健康状態やケガを記録し、職員間で把握できている。	3.9
良いところ	死角になることがないよう、常に保育者の立ち位置を気をつけている
	室内や園庭、遊具など危険が無いが常にチェックしている
	調理の先生がアレルギー食を徹底しているので心強い
	全員が地震のアラームにすぐ反応し、すばやく行動出来ている。
	アレルギー食に関しては常に声をかけあい確認できている
改善点(策)	登園時の子どもの様子をきちんと確認できている
	室温対策がひとつにまとまっていない
	夏場、暑さで子どもの汗とあせもがひどかった。
	子どもたちが快適に過ごせる環境にしていきたい
	机やいすを使用しないときは必ず片づける
	怪我の記録を他の保育士にまかせっきりになってしまっていたので ヒヤリハット等の記録を進んで記録する
	園庭にいくときだけでなく、常に笛を持っておく
	温度設定を決めているのに、管理できないことがあるので全員で配慮したい
床面を消毒する	
目の前にいる子どもだけではなく、すべての子どもに目がいくように視野を広げて、危険がないか見守り、すぐ対応できるように気を付ける	